

平成27年度

平成28年1月29日2月号(第483号)

学校だより



横浜市立すすき野小学校

TEL045 (901) 6232 FAX 045 (904) 4693

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/susukino/index.cfm>

2月



すこやかスマイル すすんで考え行動し きょうかし合う すすきっ子

子どもをやる気にさせる！

校長 三橋 国雄

今週の日曜日大相撲初場所が終わりました。大関琴奨菊が10年ぶりの日本人力士優勝を成し遂げ、日本中が盛り上がりました。琴奨菊はとても気持ちが優しく、勝負師としては精神面が強い方ではなかったそうです。5年前の名古屋場所では、終盤平幕相手に2連敗をして大関昇進を逃してしまいました。そのときに「新しい自分を作る」ことを模索し、取り組みの最後の塩を左手で取って、両腕を大きく広げ上体をそらす「琴バウワー」を考え出しました。そしてこのルーティンを確立させ、翌場所には大関昇進を決めました。「あれがあるから大丈夫」「自分に負けない」と自己暗示をかけ、それを自信につなげ、今回の優勝を勝ち取ったそうです。

学校では、学年ごとに学習のまとめの時期に入っています。

子ども達は、4月当初と比べると様々な部分で変化し、成長しています。親子で成長を確かめ合い良くなったところは認め、一緒に喜んであげてください。そして、目に見えるような結果が出ていなくても「がんばっている」ことには大いに褒め言葉をかけてあげてください。これがお子さんを伸ばす一番のポイントです。良い方向に動き出すとぐんぐん伸びていきます。学年が上がっていくほど「素直さ」や「努力すること」そして「自信」がないと持っている力がなかなか伸びません。学校では、学習の定着をしっかりとするために学習のまとめをしていきます。ご家庭でも、親として「素直さや・努力を続けることは大切だよ」「大丈夫！自信を持って」とお子さんに声をかけてほしいと思います。

朝、家を出るときに「先生や友だちの話をしっかり聞いて楽しく勉強しておいで！」と声をかけてください。それだけでも子ども達の気持ちは違うと思います。その掛け声が子ども達の頑張りを引き出すルーティンになるかもしれません。よろしくお願いします。

さて、2月3日(水)は節分の日です。「節分」は本来季節の移り変わるときの意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日を指していました。特に立春が1年の初めと考えられることから次第に、「節分」といえば春の節分を指すものになりました。

節分と言えば豆まきです。皆さんのご家庭でも「鬼は外！福は内！」と豆をまき、鬼を追い払ったことがあるのではないかと思います。今年はどのような鬼を追い払おうと豆をまかれるのでしょうか？

「やらないといけないことを、つつい後回しにしようとする鬼！」

「してはいけないことだと分かっているけど、誰も見ていないからとささやく鬼！」

「自分さえ良ければ大丈夫、というわがまま鬼！」

このような鬼を退治するのは大変ですが、私自身もしっかりと自分を振り返り、見つめ直していきたいと思います。

「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」などと言われています。年度末にむけて慌ただしくなりますが、地に足を着けて確実に一年のまとめをしていきたいと思っています。今月も、変わらぬご理解・ご支援をよろしくお願いします。